

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
英語コミュニケーション											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	演習	時間数	30	単位	2
担当教員	前田久美			実務 経験	有	職種	英語講師				
授業概要											
<p>「ことば」を学ぶことに対し柔軟な気持ちで臨むことで、英語に対する苦手意識を克服し、実際の現場で生きた英語でコミュニケーションをとれることを目指す。話せる、伝えることへの喜びを体得し英語を使える分野を広げる。</p>											
到達目標											
<p>日本語と英語の違いを理解し、英語独特のリズム、音の連結、弱化を身につけアウトプットすることの重要性を体得することで、自分の言葉で英語を表現できるスキルと文法を正確に理解でき正しく英作文できるスキルを身につける。</p>											
授業方法											
<p>解き方などのコツを受動的に聞くのではなく、クラス全体によるクラスワークやグループワークの授業活動を通して、お互いインタラクティブに学習するスタイルを導入する。各自が練習問題や実践問題に取り組んだ後、ペアで考え方や解答を比較し、意見交換をする。その後、クラス全体で意見交換し正解を確認することにより、能動的に問題に取り組み解答できるようになる。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題による評価（50%） 小テストによる評価（10%） レポートによる評価（10%） 口頭・実技による評価（20%） 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する（10%）</p>											
履修上の注意											
<p>テキストやノート等必要なものは各自必ず持参する。貸出はしない。グループワークなど協議作業でお互いを支え合うこと。誰かひとりに負担をかけない。欠席、遅刻は厳禁。欠席した場合は、速やかにその理由を報告すること。相談したいことがあれば、授業の前後で、担当者に伝えること。</p>											
教科書教材											
『英語コミュニケーション』能勢規子											
回数	授業計画										
第1回	英語学習法解説とトレーニング										
第2回	Chapter1:1-7品詞										
第3回	Chapter1:1-7ReviewGMH担当分け										

第4回	Chapter1:10-12疑問文、etc.GMH
第5回	Chapter1:13-17未来系、etc.GMH
第6回	Chapter2:15文型GMH発表①
第7回	Chapter2:2句、節GMH発表②
第8回	Chapter2:3修飾語 I GMH発表③
第9回	Chapter2:4-6修飾語 II GMH発表④
第10回	Chapter3:1-3育児用語GMH発表⑤
第11回	Chapter3:4-6遊具用語GMH発表⑥
第12回	Chapter3:7-8食事用語GMH発表⑦
第13回	Chapter3:9-10工作GMH発表⑧
第14回	Chapter3:11-12行事
第15回	ReviewまとめQ&A